

ネットワークの「X線画像」が予期せぬ出来事を明らかに

【導入の背景】

この会社のネットワークは、地域の医療機関や医師のホームオフィスに送信される大容量の画像ファイルがトラフィックの90%を占めています。遅延や失敗が患者の生存のチャンスに影響する場合があります。既存のWAN最適化アプライアンスではネットワークパフォーマンスを改善できないため、QoSポリシーによる管理を行うべく、ネットワーク内部の「X線画像」を見ることができLiveActionが導入されました。

【課題】

①WAN最適化アプライアンスでは改善できない、ネットワークパフォーマンスの低下

【ソリューション】

LiveActionという、視覚的なQoS管理ソフトウェア

【導入製品】

◆LiveAction

企業プロフィール

某放射線医療関連企業

この放射線医療関連企業は、MRIやPET、SPECTスキャナーなどの最新の医療設備を多種揃えています。放射線医療従事者や技術スタッフによる小規模ながら高度な専門チームが構成され、医療画像サービスを地域の病院へ提供しています。

本社:米国

【お客様の成果】

- WAN最適化アプライアンスは、圧縮や重複排除によってトラフィックを減らすが、同社のネットワークでは効果が発揮できなかった。LiveActionではネットワーク内部で実際に起きている問題を確認し、その原因を突き止め、QoSポリシーなどで解決できる。
- ある時、ネットワークが異常に遅くなりシャットダウンしそうだと、IT管理者が呼び出された。LiveActionを使って調べると、明らかに医療行為に関係がなく不正な目的で大容量ファイルをダウンロードしているクライアントが特定できた。対策としてルータに新しいQoSポリシーを適用することで、問題のトラフィックをブロックし、正当なトラフィックがネットワーク上を通過できるようになった。また、QoS監視とNetFlowの視覚化を使って、ポリシーが機能し、かつ、ネットワークパフォーマンスがピークに戻ったことを確認できた。
- ネットワークを回復できるだけでなく、要件が変わったときはその場でトラフィックの優先順位を変更できる、柔軟性を備えた強固で高度な視覚によるQoSソリューションを手に入れた。